

一般社団法人 鳴門板野青年会議所
2021年度 釣りまつり委員会

副理事長 岡田 直樹

委員長 大西 正起

現 状 分 析	<p>鳴門の誇る観光資源を活かした事業、鳴門Big夢釣りまつりも本年度12回目を数え、イベント、団体共に県内外問わず広く認知され、私たちのまちの観光誘客の一助を担う事業となっていますが、後継者問題による釣り船の減少などをはじめとする運営面の問題が多数生じています。継続してきたことによりブランディングされ、集客力の高い本事業が地域の魅力の発信に重要なことを各協力団体に深く理解してもらい、さらに磨きのかかった事業とするために、これまでの手法を継承しつつも見直して再構築する必要があります。</p>
設 置 目 的	<p>行政や漁協、飲食やホテルなどをはじめとする地域の観光関係事業者など各協力団体に向けて本事業の持つ県外からの高い集客性と、それによる地域への経済効果等をしっかりと伝え周囲を巻き込み連携を強化すること、そして釣りまつり事業に関わるストーリーを対外に向け発信し付加価値を高めて本事業をさらに昇華させることを目的とします。</p>
連 携 概 要	<p>■事業構築に繋がる例会の実施 過去の大会の様子など鳴門Big夢釣りまつりの歴史紹介から始まり、本年度の釣りまつり事業の打ち合わせや会議の様子、抽選風景や深夜にまで及ぶメンバー総出での準備作業、そして大会当日の様子や表彰式までを記録したドキュメンタリー映像を作成し、例会として試写会を行います。また、動画投稿サイトなどを用い作成した映像を配信します。これまで見せる事のなかった部分を動画として対外に発信することで、釣りまつりが出来上がるまでのストーリーや、どのような想いを持って私たちが事業に取り組んでいるかをより効果的に関係者様の心に訴えかけることができ、釣りまつり事業や鳴門板野JCの支持者を増やす事につながります。拡散方法として参加ゲストや各メディアに協力していただき全国に本事業と私たち団体のアピールをすることでたくさんのファンを獲得できればそれが鳴門市の魅力発信につながり、行政などの協力団体との繋がりをより深められるようになります。</p> <p>■8月釣り事業の企画・設営 本年度は、行政機関やアングラーズアイドル、活動エリア内の観光業者との密な連携を図ると共に、地域活性化や漁業者の後継者不足などの面にも着目して行政とのさらなる連携を図り、誰も体験したことのないような釣り大会の企画設営ができるよう取り組みます。また過去の夢釣りまつりアンケートでも改善の声が多かった待ち時間問題や、鳴門鯛の姿を目にすることの出来なかった参加者への事後支援についても何らかの改善策を打ち出すことにより、さらに価値の高いイベントへと大躍進させ、参加者が再度鳴門の地へ足を運びたいくなるようなNARUTOブランドの形成へとつながります。</p>
S D G s	8、11、12、14、17
パ ー ト ナ ー	鳴門市、鳴門町漁業協同組合、堂浦漁業協同組合、ポイント、YGK、いはら釣り具、釣りビジョン、徳島新聞、リビング鳴門、四国放送